

岐阜県産の花で飾ろう私の学校・寄せ植え作り体験

作成者：一般社団法人 寄せ植え華道協会 事務局

■ 実施主体

名称：一般社団法人 寄せ植え華道協会

担当窓口：事務局

所在地：岐阜県可児市瀬田1591-1

H P：yoseuekadou.com

- 団体等構成 花や植物の生態、管理方法、植栽のデザイン等の専門知識を持つ会員で構成
(花育に関しては当協会の正師範資格を有するものが担当)

- 取組地域 岐阜県内 11校 (小学校9校、中学校2校)



■ 概要

岐阜県の生産者が育てた季節の植物を使い、寄せ植えを作成する。
(秋に、種まき・ポット上げをして児童が自分で育てたパンジー、ストックなども加える。)

「寄せ植え華道」とは

寄せ植えの技術に日本古来の華道、盆栽などの「和」の文化と、ガーデニング、フラワーデザインなどの「欧米」の文化を融合させ、容器や庭などある一定の空間に植物を植栽し、生活空間を装飾するものである。

植栽する植物の選定と組み合わせにあたっては、植物の特性、形や色彩、材質を考慮し、物語性、芸術性を追求する。さらに、作品を作成するまでの技術的、精神的課程及び作品の成長に即した維持管理や作品を鑑賞する心の充足など、作品に関する課程のすべてを極めるものである。このような専門知識を有する指導者が花育の指導にあたっている。

■ 取組開始時期・経緯

2014年から岐阜県内での活動が始まり2016年で3年目の活動となる。

2016年の開催時期 12月2日寄せ植え作り

■ 目的

- ・岐阜県で栽培された植物や種から育てた植物を使って寄せ植えをつくることで地元の製品について興味を持つことができる。
- ・県内で栽培している植物を知り、花や植物を身近に感じてもらう。
- ・花飾り（寄せ植え）を見る人にも喜んでもらえるような作品作りをする。

【取り組み内容】

- 対象者・人数：小学校3年生 1クラス9名
- 教 科：総合的な学習の時間
- 所要時間：2時限（90分）
- 対象場所：小学校 教室
- 指導者：1クラスに講師3名

<寄せ植えづくり体験>

岐阜県内の生産者が育てた季節の植物を使い、寄せ植えを作成する。

秋に、種まきをして鉢上げしたパンジー、ストックなども加える。

（育てた苗は、4種類の活用方法を選んで実践する。）

1. 寄せ植え
2. ハンギングバスケット
3. フラワーアレンジメント
4. いけばな

※今回の学校は、寄せ植えを選択した。

■ 資材

花 材：岐阜県で生産された植物

ゴールドクレスト・リナリア・ヘデラ・アリッサム・プリムラジュリアン

種をまいて育てたもの：パンジー・ストック

資 材：プラスチック鉢・培養土・鉢底石・鉢底ネット・バーク

■ 準備品

土入れ・ゴム手袋・飾り（木材で作ったクリスマス用のピック・枝などの自然素材・リボン）

■ 活動内容（指導内容）

テーマは「クリスマス」

- ・花苗の扱い方（ポットの外し方、根鉢の崩し方）
- ・土の入れ方、量（ウォータースペースの確保）
- ・デザイン（植物の配置）の指導。
- ・完成した寄せ植えに飾りをつける。

寄せ植えに飾りつけをすることで季節感を出したり、テーマ性が加わることを知る。

- ・作った寄せ植えは、卒業式の会場にも飾る。

12月～3月まで楽しめる寄せ植え作りを行う。

1. 植物の説明性質や特徴を説明する。
葉や花の形と花の名前を結び付けるように説明する。
例：「チクチクした葉っぱ・いいにおいがするよ」
・・・ゴールドクレスト



2. 鉢に鉢底石をいれ、土を半分ほど入れる。鉢内に、苗をポットのまま配置してバランスを見ながらデザインしてみる。

3. ビニールポットの外し方の指導
苗に手を添えて、ポットを持って外す。



4. 苗を植える
一つずつ丁寧に土を入れる。
根鉢の崩し方も植物によって違うことを説明。



5. 植え終えたらクリスマスの飾りを作り取り付ける。

木材で作ったクリスマス用のピックにクレヨンで思い思いの絵やメッセージを描く。

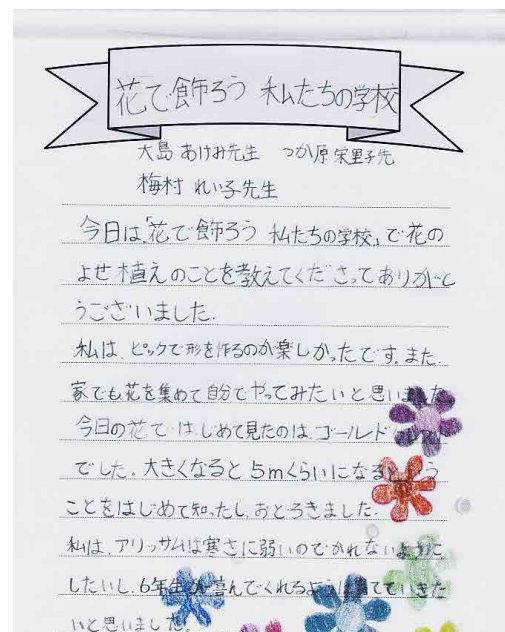


6. 木の枝・リボン・綿で飾りつけをして完成。



■ 生徒からのお礼の手紙

テーマ「クリスマス」



■ 指導のポイント

- ・使用する植物の手触り、見た目、香りなど五感を使って観察する。
- ・ポットの外し方やウォータースペースの役割などを知る。
- ・鉢の置き場所や管理の仕方を知る。

■ 経費

- ・花材・資材費は、岐阜県から支給。

■ これまでの成果

- ・1種類だけでなくいくつかの草花を形よく植えることを体験することによって、植物の性質や育て方のコツを学び興味を持ってもらえた。

■ 参加者からの感想

- ・作成した寄せ植えを、家族に見てほしい、プレゼントしたい。
- ・飾りつけが楽しかった。など

■ 今後の課題やその改善方法

- ・子供たちの個性の出る作品作りができるとういと思う。
- ・ひと手間加えた寄せ植え、多肉植物や球根などを使った寄せ植えなども体験できるとよい。

